

ELDBアカデミック IDについてのご案内

利用上限の異なるA～Fの各プランと1～5のID数を組み合わせて、ご希望のご契約をお選びいただけます。

◆1 IDにつき、記事検索用ID・原文出力用IDを各1つずつご案内いたします

<それぞれの特長>

- ・記事検索用ID…見出し、詳細情報（書誌情報＋サムネイル）まで表示。

原文は表示不可。

- ・原文出力用ID…原文まで表示。

<使い分け事例>

- ・プランに原文利用上限があるので、原文の利用をコントロールしたい。

→利用者には記事検索用IDを利用してもらい、レファレンスなどで原文出力用IDを利用。

- ・利用者にも原文をどんどん見てほしい。

レファレンスにかかる負担を軽減したい。

→利用者に原文出力用IDを利用してもらう（記事検索用IDは利用しない）。

◆ログイン方法は、IP認証もしくはID/PW認証からお選びいただけます。

<それぞれの特長>

- ・IP認証…ID/PWの入力を省略できる（利用者へのID/PWの通知も不要）。

図書館内の端末に利用を制限できる。

- ・ID/PW認証…ID/PWを知っている人のみが利用できるため、利用者を限定できる。

キャンパスが複数ある場合など複数拠点で利用する場合は、IP認証ですべてをカバーできないため、ID/PW認証を利用する形になる。

<設定事例>

- ・記事検索用IDを利用者、原文出力用IDをレファレンス等で利用する場合

→記事検索用IDをIP認証、原文出力用IDをID/PW認証とする。

- ・原文出力用IDを利用者が利用する場合（記事検索用IDは利用しない）

→原文出力用IDをIP認証とする。

※原則、見出し検索用ID、原文出力用IDをどちらもIP認証とすることはできません。

ご導入時には、必ずご希望の認証方法について確認させていただきます。

※IP認証は、同一ネットワーク内にある端末に限ります。また、設定にあたっては別途

【IP認証申込書】へのご記入が必要となります。